

ステップ1

第1回

- I ①先月は晴れた日が少なかった。
 ②親しい友人に日常会話を習っている。
 ③読書と旅行と、どちらが好きですか。
 ④弟は、古い切手を集めています。
 ⑤日本では、車は左、人は右を通ることになっている。
 ⑥この店の定休日は木曜日です。
 ⑦私は、朝九時^{あさくじ}に始まつて夕方五時^{ゆうがたごじ}に終わる仕事がしたい。

I ⑤日本：「にっぽん」とも読む。
 通る：図^{かよ}通う、通じる
 ⑦私：正しくは「わたくし」と
 読む。「わたし」は慣用的な読
 み方。
 九時：「九」の基本の音読み
 は「キュウ」。

第2回

- I ①一日に一度は教科書に目を通そう。
 ②銀行は三時に閉まるから早く行きなさい。
 ③お昼はいつも会社の食堂で食べることにしている。
 ④あの有名な作曲家は、元歌手だそうだ。
 ⑤あれは東洋一大きい建物です。
 ⑥私は新聞の漢字が読めるようになりたい。
 ⑦この土地の名物をお送りしましたので、お受け取りください。

I ①目を通す：図「ざつと見る」
 ④～家：「～を職業とする人」
 元～：「以前」
 ⑤～一：「～の中で一番」

第3回

- I ①毎朝四時に起きて、公園を走ることにしている。
 ②スピーチをする時は、自分の考えを短くまとめて話すこと。
 ③今年は、七月二十日から夏休みだ。
 ④世界の言語には文字を持たないものもある。
 ⑤自転車で転んでしまって足が痛い。
 ⑥明日の午後は、大事な用事で外出します。
 ⑦父母の元気な顔を見て安心した。
 ⑧旅行の費用は、係りの者が集金します。

I ③今年 二十日：図 (特)
 ④世界：「世」の基本の音読み
 は「セイ」。例：中世
 文字：「もんじ」とも読む。
 「文」の基本の音読みは「ブ
 ン」。例：文学
 ⑥明日：図 (特) 改まった場合
 の読み方は「みょうにち」。「あ
 した」は平仮名で書く。

第4回

I ①この用紙に、住所、氏名、**生年月日**と電話番号を書いてください。
 ②今年は天気の悪い日が多く、見学者は去年の半分だ。
 ③遠くに海が見えるレストランで昼食を取ろう。
 ④しつかり働いた後で飲むお茶はおいしい。
 ⑤台風の強い風のため、電線が切れ電気が消えた。
 ⑥安全運転で楽しい旅を。
 ⑦春の洋服には、明るい色が好まれる。
 ⑧山の上から見下ろすと、町も村も小さく見える。

II a うつって b だいがく c おくじょう d 大小
 e ふたつ f くださら g げか h いがく
 i まなんて j みごとに k はずれた l せけん
 m 悪口 n 会う o 急いで

I ①生年月日：「月」の基本の音読みは「ゲツ」。例：今月
 ④後で：図後、後ろ
 ⑤台風：「台」の基本の音読みは「ダイ」。例：台所
 ⑦好む（動）：図好き（形）
 II a 映る：図写る
 g 外科：「外」の基本の音読みは「ガイ」。例：外国
 I 世間：「間」の基本の音読みは「カン」。例：時間
 m 悪口：「わるぐち」の読み方もある。

第5回

I ①食事の後、空いたコップを台所まで運んでください。
 ②こちらへは、地下鉄を利用されるのが便利です。
 ③兄はドアをぴったり閉めて、夕飯になんでも部屋から一步も出てこない。
 ④姉から、男の子が生まれたという知らせが来た。
 ⑤先生は高校時代の思い出を話してくださった。
 ⑥薬屋は、そこを右に曲がるとありますよ。
 ⑦この県の人口は、ここ五、六年ほぼ一定している。

II a うお b いちば c きんぎょ d しゅうちゅうりょく
 e 高めて f まさって g いつつ h いと
 i 親切な j じいん k 黒くて l 止まって
 m 手 n 円 o おおやさん

I ①空く（動）：図空き（名）、空（名）、空（名）
 ③閉める：図閉じる
 部屋：図（特）
 ⑥～屋：「その職業の人、職業を営む店」
 II a 魚：図魚
 f 交ざる：図混ざる

第6回

I ①電気と水道の使用料金で、毎月九千円ぐらいかかる。
 ②大会に出場する人は、全員こちらに集まってくれます。
 ③受験のために毎日八時間も勉強した。
 ④私は特に「か」と「が」の区別が苦手だ。
 ⑤自転車の二人乗りは危ないので禁止されている。
 ⑥日本の首都の人口は約三千三百万人です。
 ⑦今度の休みは部長の代理でゴルフに行くことになっています。

II a じょうず b へた c うわぎ d 金色
 e 紙 f さんしょく g ぜんしや h こうしゃ
 i あらたな j しょうじた k なま l 魚
 m まさに n ちゅうせい o おこなわれ

I ⑤二人：図（特）
 せんさんひゃくまんにん ねん がつげん
 ⑥三千三百万人：2010年3月現在
 在の人口。「人」の基本の音読みは「ジン」。例：外国人
 II a 上手 b 下手：図（特）
 こうしゃ きほん おん よ
 h 後者：「後」の基本の音読みは「ゴ」。例：午後
 j 生じる：「発生する」という意味。「生じる／する」あり。
 図（五）IV e 「生」の基本の音読みは「セイ」。例：生活
 k 生：「熱を加えていない」

第7回

I ①海外に住んでいる親友から七年ぶりに便りが来た。
 ②遠くに家を買うより、都心のマンションを借りたほうが便利だ。
 ③この先の広い道を三分ほど行くと、お寺の前に出ます。
 ④花に水をやり小鳥の世話をするのが、私の朝の仕事だ。
 ⑤来週長男が海外から帰るのを楽しみにしている。
 ⑥楽な一生よりも、苦しくても自分らしい人生を送りたい。
 ⑦あの後ろに見える西洋風の建物が国立図書館です。

II a 代わって b おもに c てくび d 痛む
 e きょうだい f ちょうしょ g たんしょ h みやこ
 i 二日 j 日曜日 k つごう l 九日
 m 赤い n 土 o 川

I ①便り：送り仮名に注意。
 ③～分：「分」の基本の音読みは「ブン」。例：気分
 ⑤長男：「男」の基本の音読みは「ダン」。例：男子
 ⑥楽な：「楽」の基本の音読みは「ガク」。例：音楽
 ⑦～風：「～の特色を持つ」図書館：「図」の基本の音読みは「ズ」。例：地図
 II e 兄弟：「兄」の基本の音読みは「ケイ」。
 i 二日：図（特）
 k 都合：「都」の基本の音読みは「ト」。例：都会

第8回

I ①消費者の好みを考えて、新しいタイプの車を作った。
 ②勉強不足で、何を聞かれても正しく答えられなかつた。
 ③日本は、春、夏、秋、冬の区別がはつきりしている。
 ④小さい時は体が弱かつたが、大人になってからは病気一つしない。
 ⑤この地方は南から北にかけて森林が広がつてゐる。
 ⑥ニュースによると青少年の体力が少しずつ低下してきているそうだ。
 ⑦本が着きましたら、来月の十日までに代金を郵送してください。

II a かいとう b 土曜日 c 出して d 同じ
 e どういつ f せきどう g とつきゅう h じょうきょう
 i 南北 j 長い k お父さん l 手前
 m 言つた n 牛肉 o 安くて

I ①好み：「好む」(動)の名詞化。
 ②勉強不足：「べんきょう+ふそく」→「べんきょうぶそく」読み方に注意。
 ④大人：図(特)
 II a 回答：「質問や要求などへの返事」図解答
 e 同一：「一」の基本の音読みは「イチ」。例：一度
 k お父さん：図(特)

第9回

I ①雨が降つた後は、運動場を使用しないでください。
 ②地図によれば、交番は映画館と公園の間にあるはずだ。
 ③苦心して作った作品をほめられて、少女はうれしそうだった。
 ④開会にあたつて、市長は今後の計画を力強く語つた。
 ⑤お寺の門の前で、一人の男が飲み物を売つてゐる。
 ⑥このレポートは今晚中に仕上げるつもりだ。
 ⑦火事があつたために、今日この通りは通行禁止になつてゐる。

II a 四日 b 六日 c ちゅうこしゃ
 d ぱいぱい e たいはん f まったく g うれゆき
 h 非常に i じょうひんな j 先日 k しな
 l うち m そと n 使い分ける o しょもつ

I ④計画：「画」の基本の音読みは「ガ」。例：映画
 力強く：「ちから+つよく」→「ちからづよく」読み方に注意。
 ⑤一人 ⑦今日：図(特)
 II c 中古：「使用して古くなつた品物」
 j 先日：「日」の基本の音読みは「ニチ」。例：日曜
 o 書物：「物」の基本の音読みは「ブツ」。例：動物
 「モツ」と読むのは「食物」など。

第10回

I ①あの黒っぽい服を着た方は物理学者です。
 ②こういうミスが何回も重なつて、社長の耳に入ります。
 ③寝不足と疲れから入院してしまつた。
 ④動物好きの母は、犬も家族同様に大切にしています。
 ⑤兄は、四十代半ばで小学校の校長になった。
 ⑥この工場では危険な化学薬品を使つてゐる。
 ⑦ただいま、都内の電車は全線が不通になっています。
 II a 西口 b ごじゅうおん c じゅうぶん d ほんにん
 e 子犬 f ゆくえ g 歌 h 歌つて
 i 閉会 j あけたら k 林 l 交通
 m べん n いっぽう o しゃつkin

I ②耳に入る：図「情報などを聞いて知る」
 ③寝不足：「ね+ふそく」→「ねぶそく」読み方に注意。
 ④動物好き：「どうぶつ+すき」→「どうぶつずき」読み方に注意。
 ⑤半ば：送り仮名に注意。
 II c 十分：「あそく」読み方に注意。
 f 行方：図(特)
 j 明ける：「年が明ける」は「新年になる」という意味。
 m 便：「便が悪い」は「不便だ」という意味。「ビン」と読むのは「郵便や輸送機関」の時。

第11回

I ①友人間でお金を貸したり借りたりしないこと。
 ②二階で一晩中物音がしていて寝られなかつた。
 ③お正月に国へ帰つて、お母さんの作ってくれる料理を味わうのを楽しみにしています。(手紙文で)
 ④私の好きな学科は理科と音楽だ。
 ⑤あの病院は、曜日によつては夜間も開いてゐる。
 ⑥去年行つた工事をめぐる不正について、知事に質問が集中した。
 ⑦私は父親から心の広い人間になれと教わつた。

II a 三十七度 b さがつて c ほんじつ d 中止
 e はたち f みつか g ぎょうじ h 田
 i おこめ j 味 k 痛み l 取る
 m きょうりょくな n くつう o なかつた

I ③正月：「正」の基本の音読みは「セイ」。例：不正
 お母さん：図(特)
 ⑤開く：図開く
 ⑦人間：「間」の基本の音読みは「カン」。例：時間
 II c 本日：「今日」の改まった言葉
 e 二十：図(特)
 g 行事：「行」の基本の音読みは「コウ」。例：行動

第12回

I ①お兄さんは南米でお医者さんとして働いていらっしゃるとか。
 ②友人のお姉さんがケーキを八つに切って分けてくれた。
 ③四月七日は遠足です。
 ④この全集は、東西の有名な作家の作品が集められている。
 ⑤考えても分かりませんでしたので、答えを教えてください。
 ⑥持った時重かったのに、開けたら中は空だった。
 ⑦今は多くの人が、心に不安を持って生きている時代だ。

II a けさ b 夜 c 低く d かない
 e みょうごにち f おへんじ g お名前 h みょうじ
 i 降りて j したまち k めいしょ l 木
 m 森 n 部分 o 全体

I ①お兄さん ②お姉さん: 図
 (特)
 ④東西: 「西」の基本の音読み
 は「セイ」。例: 西洋
 II a 今朝: 図 (特)
 e 明後日: 「明」の基本の音読み
 みは「メイ」。例: 説明
 a さて: は平仮名で書く。
 h 名字: 「名」の基本の音読みは
 「メイ」。例: 氏名
 i 降りる: 図下りる

第14回

I ①駅の売店で新聞と飲み物を買った。
 ②この石は火には強いが、水には弱い。
 ③山林の火事は四十八時間で消し止められた。
 ④学費の一部にするために、週三回、飲食店で働いています。
 ⑤学校まで歩いて通える場所に部屋を借りた。
 ⑥東の空に大きな月が出ていた。
 ⑦入り口の所に立っていると、入る人のじゃまになります。

II a みおり b 友 c 別れ d あかり
 e 消して f 閉じる g できごと h しまい
 i 九つ j 六つ k 四つ l ふじ
 m 話 n なにじん o はえて

I ⑤通う: 図通る、つうじる
 II d 明かり (名): 送り仮名に注意。図明るい (形)
 I 無事: 「無」の基本の音読み
 は「ム」。例: 無理
 n 何人: 「何人」との意味の違いに注意。
 m 話 (名): 図話す (動)

第13回

I ①何か足りない物があったら、近所の店で買ってください。
 ②南の国を旅行した時に見た、白い花の名前が知りたい。
 ③元教会だった建物は、今大使館として使われている。
 ④姉が日本に住んでいるので、来日して特に困ったことはない。
 ⑤兄弟二人の年を足すとちょうど四十になる。
 ⑥人がいないはずの教室の中から、小さい女の子の声が聞こえる。
 ⑦この地方の地下水は飲料水として使用されている。

II a むじ b きじ c 見せて d よあけ e ようか
 f やおや g 安売り h 夕食 i 特別な j 青
 k さゆう l 来月 m ついたち n つねに o ようじん

II a 無地: 「地」の基本の音読み
 は「チ」。例: 地球
 b 生地: 「き (訓) + ジ (音)」の読み方に注意。
 f 八百屋 m 一日: 図 (特)
 k 左右: 「右」の基本の音読み
 は「ウ」。
 o 用心: 「用心する」は「気をつける」という意味。「心」の基本の音読みは「シン」。
 例: 心配

ステップ 2

第15回

I ①気分が悪いのなら、しばらくそこに横になつていなさい。
 ②広場の中央に大きな時計台がある。
 ③上りと下りの電車を間違えて乗ってしまった。

II ①解く (とく) ②加える (くわえる)
 ③温めます (あたためます) ④過ぎた (すぎた)
 ⑤返す (かえす)

III ①各 c かくじ d かくち
 ②育 e たいいくかん f きょういく
 ③感 g かんしんな h かんどう

IV a かいが b 貝 c なま d 鳥 e おうじ
 f ものがたり g 一億円 h かど i 明らか j ようす
 V ①2 ②1 ③1 ④3 ⑤4

I ②時計: 図 (特)
 ③上り: ここでは「地方から中央へ向かう」。↓下り
 II ③温める: 「温める」は手など体の一部で感じられるものに使う。図暖める
 IV e 王子: 「子」の基本の音読み
 は「シ」。例: 調子
 i 明らか: 送り仮名に注意。
 「はつきりしている」という意味。図明かり(名)、明るい(形)
 V ①強引に: 「強」の基本の音読み
 みは「キョウ」。例: 勉強
 ④果たして (副): 「本当にへだとうか」
 ⑤自ら: 送り仮名に注意。「自分から、自分で」という意味。

第16回

- I ①大通りにある薬局は、年中特売をしている。
 ②花火を見物する人で、橋の上は動けないほどだった。
- II ①日課 (にっか) ②活気 (かつぎ) ③意外 (いがい)
 ④経営 (けいえい) ⑤以降 (いこう)
- III ①角 a さんかくけい b かくど
 ②月 c おしょうがつ d つきひ
 ③記 e きにゅう f きじ
 ④共 g きょうつう h きょうどう
- IV a おのの b ちょうしょ c かこ d かいぎ
 e ながびいて f 器具 g おすまい h むりよう
 i たいおんけい j はかる
- V ①4 ②(1)1 (2)1 (3)2 ③3

- I ①年中: 「ずっと、いつも」
 IV a 各々: 「一人一人」という意味。「々」は同じ文字の繰り返し符号。「各」だけで「おのの」とも読む。
- c 過去: 「去」の基本の音読みは「キヨ」。例: 去年
- g 住まい (名): 「住んでいる所」図住む (動)
- j 計る: 「数量や時間を調べ数える」図測る、量る
- V ①玉: 「丸い形をした物」
 ②(2)大木: 「大」の基本の音読みは「ダイ」。「木」の基本の音読みは「ボク」だが、「木曜日」「木材」など「モク」と読む語が多い。
- ③足る: 「十分である」

第18回

- I ①強い光は目に悪いので、夏はサングラスをかけるようにしている。
 ②昨日売り出されたコンピューターは、あつという間に売り切れた。
- II ①空港 (くうこう) ②山林 (さんりん) ③目次 (もくじ)
 ④生産 (せいさん) ⑤国際 (こくさい)
- III ①限 a げんかい b むげん
 ②在 c ざいがくちゅう d げんざい
 ③解 e かいとう f りかい
 ④合 g ごうどう h ごうりか
 ⑤長 i とくちょう j ちょうちょう
- IV a ね b つち c とりいれる d こんがつき
 e しけん f 課 g いたい h ゆび
 i ち j けっして
- V ①(1)3 (2)4 ②4 ③(1)1 (2)2
- I ①光 (名): 送り仮名はつかない。図光る (動)
 ②昨日: 図 (特) 改まった場合は「昨日」とも読む。
 あつという間: 「短い時間、すぐ」
- III c ~中: 「~している」という意味。例: 工事中
 e 解答: 「練習問題などの答え」図回答
 i 特長: 「そのものの特によい所」図特徴
- IV j 決して: 「決して~ない」の形で用い、「絶対に~ない」という意味。
- V ①(2)指す: 「指などで示す」
 ②効く: 「効果がある」
 ③(1)通じる: 「通じる／ずる」あり。図 (5)IV e)

第17回

- I ①広告は、新聞よりテレビのほうが効果があるようだ。
 ②コンサートに行く前に、どこかで軽く食べて行こう。
 ③日記を読んで、楽しかった学生時代を思い出した。
- II ①改める (あらためる) ②育つて (そだつて)
 ③結んで (むすんで) ④光って (ひかって)
 ⑤用いる (もちいる)
- III ①泳 a すいえい b およいだ
 ②向 c ほうこう d むかって
 ③決 e きめた f けっしん
 ④待 g きたい h まって
- IV a かたち b ちょうどうけい c 過ごした d ほうがく
 e 事件 f 限り g 可決 h してつ i 起こした j くらい
- V ①2 ②4 ③1 ④3 ⑤2

- I ②軽く食べる: 「少し食べる」
 II ⑤用いる: 「使う、使用する」
- IV d 方角: 「角」の基本の音読みは「カク」。例: 三角
- V ④球: 「スポーツのボール、それに似た形のもの」

第19回

I ①西向きの部屋なので、夏の夕方は暑くてたまらない。
②さっきまで泣いていた妹が、もう笑っている。

II ①失った（うしなった） ②示して（しめして）
③死ぬ（しぬ） ④効く（きく）
⑤試して（ためして）

III ①資 a しほん b しりょう
②式 c けいしき d けつこんしき
③情 e かんじょう f じじょう
④商 g しょうばい h しょうひん
⑤原 i げんりょう j げんし

IV a 王 b 教師 c ながねん d 研究 e み
f むすんだ g さんしよう h かち i 手術
j なおしたい

V ①(1)3 (2)1 ②2 ③(1)4 (2)4

I ①～向き：「部屋の窓などが～」
の方向に向いている」

II ②示す：「相手にはっきり分か
るように見せる」

IV c 長年：「なが(訓)+ネン(音)」
の読み方に注意。

e f 実を結ぶ：図「よい結果を
得る」

g ～勝：勝った回数を数える助
数詞。

j 治す：「病気」の時には「治す」
を使う。図直す

V ①(2)四つ角：「四つ」の読み方
は「よつ」だが、名詞につ
くと「よつ」と読む。
③(1)険しい：ここでは「傾斜が
急な」という意味。
(2)目指す：「目標にする」

第20回

I ①この海はすぐ深くなるので、泳ぐのは危ない。
②私が受けた大学は、受験科目が英語と数学だけだった。

II ①政治（せいじ） ②社説（しゃせつ） ③助手（じょしゅ）
④果実（かじつ） ⑤身分（みぶん）

III ①一昨年（いつさくねん） ②暗記（あんき）
③合格（ごうかく） ④改正（かいせい）
⑤真空（しんくう）

IV a 雪 b 初めて c 屋根 d だんせい e 頼って
f がんじつ g 寺 h じんじゃ i 静かな j お座り

V ①3 ②1 ③(1)4 (2)2 ④2

II ⑤身分：「み（訓）+ブン（音）」
の読み方に注意。

III ④改正：「改めて正しくする」。
例：憲法改正

IV b 初めて：「1回目」図始める
(×始めて、×初める)

f 元日：「元」の基本の音読み
は「ゲン」。例：元気

h 神社：「神」の基本の音読み
は「シン」、「社」の基本の音
読みは「シャ」。例：神経、
会社

V ①笑顔：図（特）
④酒場：「さか」の読み方に注
意。

第21回

I ①今若い人の間では、船の旅も人気があるそうだ。
②外が暗くなったと思ったら、急に雨が降り出した。
③色の組み合わせで最も目立つのは、黄色と黒だ。

II ①相違（そうい） ②勝手（かって） ③相続（そうぞく）
④対立（たいりつ） ⑤成分（せいぶん）

⑥身長（しんちょう）

III ①設 a せつけい b けんせつ
②宅 c じたく d きたく
③信 e しんごうき f じしん
④題 g もんだい h だいめい
⑤制 i せいど j せいげん

IV a 地球 b 自然 c 会議 d 昨日 e 星
f こまかい g 指示 h 他人 i せんそう j たたかつた

V ①(1)治める：「混乱をしめる」
②済む：「解決する」という意
味。「終わる」という意味も
ある。

I ①人気がある：「人々に好かれ
る」

③目立つ：「め+たつ」→「め
だつ」読み方に注意。

IV b 自然：「自」の基本の音読み
は「ジ」。例：自由

f 細かい：「おくがな」という
細い

V ①(1)治める：「混乱をしめる」
②済む：「解決する」という意
味。「終わる」という意味も
ある。

第22回

I ①今年の冬は暖かくて、まだ一度も雪が降らない。
②都会では鳥や虫がだんだん見られなくなってきた。

II ①達した (たっした) ②注いで (そいで)
③助かつて (たすかつて) ④追われて (おわれて)
⑤折れて (おれて) ⑥調べて (しらべて)

III ①選 aせんしゅ bえらばれた
②進 cすすまない dしんぽ
③相 eあいて fそうだん
④置 gおく hいち
⑤速 iじそく jはやさ
⑥最 kもっとも lさいこう

IV a軍 b関係 cでんごん d打つ e写真
fじつぶつ g写って hおそい iおくれて j差

V ①(1)1 (2)3 ②1 ③4 ④3

II ①達する : 「ある場所や程度に届く、及ぶ」  動詞 (52 I ②)
III j 速さ (名) :  「速」は速度に、「早」は時間の経過に使う。
IV c 伝言 : 「言」の基本の音読みは「ゲン」。例: 言語 d 打つ : 「心を打つ」は  という意味。
h i 遅い・遅れる : 遅い (形)、遅れる (動) 読み方に注意。
V ③手伝う :  ④暖まる (自) : 

第23回

I ①個人的な意見ですが、私はそれに反対です。
②日本では、牛や馬は農業でよく使われていた。

II ①直して (なおして) ②静まった (しずまつた)
③争って (あらそつて) ④熱する (ねっする)
⑤比べる (くらべる) ⑥深まったく (ふかまったく)

III ①退 aたいいん bいんたい
②職 cしょくにん dしょくば
③数 eかず fかぞえる
④点 gじやくてん hしゅうてん
⑤期 iじき jたんきかん

IV aかのじょ b発音 c得意げ dなげる
e竹 fのぼりたい g死んで h悲しそう
iおんだんか jとうしょ
V ①(1)2 (2)3 (3)2 ②(1)1 (2)3

II ①直す : 「間違いなどを正しくする」  ④熱する : 「熱が生ずる、熱くなる」  動詞。(52 I ②)
III d 職場 : 「ショク (音) + ば (訓)」の読み方に注意。
IV a 彼女 : 「彼」の基本の訓読みは「かれ」。
V ①(3)飛ばす : 「風船を飛ばす」は「風船を空に上げる」という意味。
②(2)増える (自) : 
③(2)増す (類)

第24回

I ①夫は気が短いのが欠点で、少しの時間も待つことができない。
②初級の文法といっても、完全に使える人は少ない。

II ①解放 (かいほう) ②電池 (でんち) ③開放 (かいほう)
④普通 (ふつう) ⑤付近 (ふきん) ⑥美人 (びじん)

III ①現 aげんじつ bあらわれて
②残 cのこつて dざんねん
③酒 eにほんしゅ fおさけ
④負 gまける hしょうぶ
⑤熱 iあつかつた jねつ
⑥増 kふえて lぞうか

IV a忘れて b治す cえ d才能 e婦人服
f地位 g忙しく hおもて iとびでる j平行

V ①(1)2 (2)1 ②1 ③4 ④3

I ①気が短い :  「せっかちである、短気である」という意味。
II ①解放 : 「制限がなく自由にすること」
③開放 : 「ドアや窓などを開けたままにしておくこと」「出入りを自由にすること」
III b 現れる : 「今まで見えなかつたものが見えるようになる」
例: 雲の間から太陽が現れる
h 勝負 : 「負」の基本の音読みは「フ」。例: 负担
IV i 飛び出る : 「目の玉が飛び出る」は  といふ意味。
V ①(1)首相 : 「相」の基本の音読みは「ソウ」。例: 相談
②直ちに : 「すぐに」の改まつた言い方。

第25回

I ①テレビ放送が始まってから、日本人の生活スタイルは大きく変わった。
 ②ベルが鳴ったのに気付かず、教室に入るのが遅れてしまった。

II ①伝わった (つたわった) ②信じ (しんじ)
 ③増す (ます) ④表す (あらわす)
 ⑤望んで (のぞんで) ⑥在る (ある)

III ①第 a しだいに b だいいちい
 ②面 c しょうめん d じめん
 ③命 e じんめい f せいめい
 ④農 g のうそん h のうみん
 ⑤未 i みかいけつ j みらい
 ⑥单 k たんい l たんご

IV a 並んで b 寒い c 必要 d しんけいしつな
 e しゅやく f つとめる g 毛糸 h のはら
 i ねころんで j 雲 k おちてきた
 l あたって m 頭

V ①(l) 3 ②(4) ②(1) ③(1) ④(3)

II ②信じる: 「信じる／する」あり。
 圖 (5) IV e
 ③増す: 圖増える
 III a 次第に (副): 「だんだん」
 「次」の基本の音読みは「ジ」。
 例: 目次
 IV d 神經質な: 「細かいことが気になる性質」 「～質」は「～の性質や傾向を持った」という意味。
 f 務める: 「任せられた仕事や役目を果たす」 圖勤める、努める
 V ③夫婦: 「夫」の基本の音読みは「フ」。例: 夫妻

第26回

I ①大学に合格したことを伝えると、両親は心から喜んでくれた。
 ②次の試合に勝つためには、もっと練習する必要がある。
 ③先日は無理なことを申しまして、大変失礼しました。

II ①月末 (げつまつ) ②予備 (よび)
 ③分類 (ぶんるい) ④知能 (ちのう)
 ⑤困難 (こんなん) ⑥草原 (そうげん)

III ①直 a ちょくご b ちょくつう
 ②形 c にんぎょう d けいしき
 ③例 e じつれい f れいがい
 ④和 g へいわな h わふく
 ⑤表 i だいひょう j ひょうし
 ⑥路 k つうろ l ろせん

IV a りゅう b せんめん c すずしい d 減って
 e 航空 f 工夫 g かはんすう h えられる
 i だいぶ j みのる

V ①2 ②1 ③(1)3 ②4 ③3

III c 人形: 「形」の基本の音読みは「ケイ」。例: 形式
 h 和～: 「日本風の」という意味。
 I 路線: 「鉄道やバス道路、またはその道筋」 圖路線
 IV f 工夫: 「よい方法をいろいろ考える」。「工」の基本の音読みは「コウ」。例: 工場
 V ③(1)真っ赤: 圖 (特)
 (2)登山: 「登」の基本の音読みは「トウ」。例: 登場

第27回

- I ①親切な青年に手を引かれて老人は道を歩いて行った。
 ②山に降った雨は岩の間を通して川に流れ出る。
 ③学校では、目立たないごく普通の子です。
- II ①務めた (つとめた) ②放す (はなす)
 ③連れて (つれて) ④太って (ふとって)
 ⑤論じて (ろんじて) ⑥洗いなさい (あらいなさい)
- III ①配 a はいたつ b くばる
 ②速 c はやく d そくたつ
 ③遊 e ゆうえんち f あそぶ
 ④落 g らくだい h おちつき
 ⑤備 i そなえて j せつび
- IV a 枚数 b 信用 c 預ける d 機会 e 相談
 f 留学 g 続ける h くだもの i すいぶん j 例えば
- V ①(1) 1 ②(4) ③(1) 3 ② 3 ③ 2

- II ⑤論じる: 「議論する」という意味。「論じる／する」あり。
 圖 (5) IV e
- III c 速い (形): 圖速さ (名)
- IV g 続ける: 「つづける」振り仮名に注意。(×つずける)
 h 果物: 圖 (特)
- V ②(2) 問い合わせる: 「知りたいことを電話や手紙などで聞く」

第28回

- I ①美しい海の底を泳ぐ魚を見てみたいものだ。
 ②旅行に行くので、飛行機とホテルを予約した。
 ③小学生の時から、算数は苦手でしたが、歴史は大好きでした。
- II ①論争して (ろんそうして)
 ②注目されて (ちゅうもくされて)
 ③登場した (とうじょうした)
 ④合流する (ごうりゆうする)
 ⑤強調して (きょうちょうして)
 ⑥卒業して (そつぎょうして)
- III ①等 a びょうどう b とうぶん
 ②重 c じゅうだいな d じゅうてん
 ③失 e しつぼう f かしつ
 ④由 g ふじゆう h りゆう
 ⑤具 i ぐあい j ぐたいてき
- IV a しょうじきな b ふり c よのなか d たしよう
 e ぞうげん f だいたい g しゅうにゅう h くすりや
 i ずつうやく j 事務
- V ① 3 ② 4 ③ 2 ④ 3 ⑤ 1

- III a 平等: 「平」の基本の音読み
 は「ヘイ」。例: 平和
- IV a 正直な: 「直」の基本の音読み
 みは「ヨク」。例: 直前「ジキ」はほかに「直に」(副)
 i 頭痛薬: 「頭」の基本の音読み
 みは「トウ」。例: 先頭
- V ③ 収める: 「けつかえる」の物をきちんと入れる
- ⑤ 船便: 「ふね+びん」→「ふなびん」読み方に注意。「便」の基本の音読みは「ベン」。例: 便利

第29回

- I ①二人は四年間の交際の末、婚約した。
 ②彼女は折れそうなくらい細い指をしている。
 ③言語にはそれぞれ特色があり、難しさを比べることはできない。
- II ①打ち合わせた（うちあわせた）
 ②書き上げた（かきあげた）
 ③見直しなさい（みなおしなさい）
 ④引き返した（ひきかえした）
 ⑤知り合いました（しりあいました）
- III ①天然（てんねん） ②一流（いちりゅう）
 ③経由（けいゆ） ④平日（へいじつ）
 ⑤調味料（ちょうみりょう） ⑥結論（けつろん）
- IV a はんとう b まっさお c はたけ d 解決法
 e ありがたく f 言葉 g しなもの h さっそく
 i かきとめ j やど
- V ①(1)3 (2)2 (3)4 (4)1 ②3

- II ③～直す：「動詞（ます）+直す」
 で、「もう一度～する」
 ④引き返す：「元の場所まで戻る」
- III ①天然：「然」の基本の音読みは「ゼン」。例：自然
- IV b 真っ青：図（特）
 e 有り難い：「感謝したい気持ちである」
 h 早速：「早」の基本の音読みは「ソウ」。
- V ①(4) プロ級：「プロ」は「プロフェッショナル（職業としてそれを行う専門家）」の略。「～級」は「～と同じ程度」という意味。例：大臣級

第30回

- I ①あの二人は気が合わなくて、まるで水と油のようだ。
 ②彼は有能な男だったが、家庭ではいい父親ではなかった。
 ③五年に一回、職業や生活についての調査が行われる。
- II ①打ち消した（うちけした）
 ②引き受け（ひきうけて）
 ③差し引かれる（さしひかれる）
 ④通り過ぎて（とおりすぎて）
 ⑤組み立てられる（くみたてられる）
 ⑥飛び出して（とびだして）
- III ①温 a きおん b あたたかい
 ②続 c れんぞく d づべき
 ③済 e けいざい f しようずみ
 ④次 g しだい h ついで
 ⑤必 i ひっしに j からならず
- IV a あいす b すえつこ c できうる d じゅうやく
 e 組 f 注文 g 追加
 h じっとう/じゅうとう i せんとう j いっちゃん
- V ①(1)2 (2)2 ②4 ③1 ④3
- III e 経済：「済」の基本の音読みは「サイ」。
- IV c 出来得る：読み方に注意。「出来る」を強めた固い言い方。「～得る」は古い言い方で「～できる、可能性がある」という意味。
- h 十頭：読み方は「じつとう/じゅうとう」どちらもあり。「～頭」は大きい動物を数える時使う助数詞。
 j 一着：「～着」は到着の順を表す助数詞。また、服を数える時にも使う助数詞もある。
- V ①(1)自治：「治」の基本の音読みは「ジ」。例：政治
 (2)自由：「由」の基本の音読みは「ユ」。例：経由
 ②作法：読み方に注意。「作」の基本の音読みは「サク」。

総合問題1

I ①説 ②解 ③見 ④実

a せつめい bかいせつ cけんかい dじつけん
eはつけん fじつげん

(2)①性 ②反 ③心 ④議

aせいべつ bはんえい cせいのう dいはん
eしんぱい fかんしん gねつしん hぎろん iふしぎ

II ①一日 (ついたち) 一日 (いちにち)

②月日 (がっぴ) 月日 (つきひ)

③十分 (じっふん／じゅつぶん) 十分 (じゅうぶん)

④今日 (きょう) 今日 (こんにち)

III ①着 (ちゃく) ②別 (べつべつに)

③続 (ぞくぞく) ④次 (つぎつぎに)

⑤広 (ひろびろ) ⑥様 (さまざま)

⑦点 (てんてん)

IV ① a道具 b人類 c能力 d入れた e発明

f産業 g工業 h現代 i情報 j主要

② a訪ねた b野 c草 d種 e庭

f池 g鳴いて hけはい iめし jくって

③ a発達 b成長 c願う dぎょうじ eななつ

fみつづ g国民 hいつか i成人 jはたち

④ aともだち bそくたつ c経営学 d下宿 eぶんや

fいのち g政府 h注意 iえがお jふとい

III 々：同じ漢字が続く語の時に用いる符号。ほかに「人々」「山々」「国々」や「近々」などがある。

IV ② g鳴く：図立く

h 気配：「氣」の基本の音読
みは「キ」。例：空気
i 飯 j 食う：「飯を食う」
は「ご飯を食べる」「食事をする」の男性のくだけた言い方。
④ a 友達 i 笑顔：図 (特)

チャレンジ 接辞①

I ① 1 ② 3 ③ 1 ④ 3 ⑤ 1

II ① 食 ② 生 ③ 中 ④ 者

III ① 有名人 大学生 銀行員 ② 入学金 生活費 電車賃

③ 運動場 大使館 案内所 研究室 觀光地

IV ① 無 ② 未 ③ 不 ④ 非

チャレンジ 読み方と意味

I ①れんきゅう ②さいかい ③たよう ④はいち ⑤ぜんれい ⑥かいし

II ①再会 ②多様 ③開始 ④配置 ⑤前例 ⑥連体

III ①同どうかん ②予よかん ③反はんかん

④未みてい ⑤固こてい ⑥制せいてい

ステップ3

第31回

I ① 日本は海に囲まれた島国である。

② いい部屋が見付かったので、今度の土曜日に引っ越しをする。

II ① 鋭い (するどい) ② 永い (ながい)

③ 汚くて (きたなくて) ④ 偉い (えらい)

⑤ 易しそう (やさしそう)

III ① 延 a のびた b えんちょう

② 移 c うつした d いてん

③ 域 e ちいき f くいき

④ 液 g けつえき h えきたい

⑤ 貨 i つうか j かもつ

IV a かわ b しるし c いえん d けむり

e おかし f いしょくじゅう g おさて h 永遠

i 愛 j おく

V ①(1)2 (2)4 ②2 ③1 ④1

I ① 島国：「しま+くに」→「しまぐに」読み方に注意。

II ② 永い：「いつまでもずっと続

く様子」図長い
③ 汚い (形)：図汚れる (自)、
汚す (他)

III a 延びる：「距離や時間が長くなる」例：会議が延びる、道の路が延びる 図伸びる

i j 通貨・貨物：「貨」には「お金」と「荷物、品物」二つの意味がある。

IV a 河：「大きい川」図川
c 炎：「～に痛み、熱、赤みなどを起こすこと」

d 煙 (名)：送り仮名はない。
図煙い (形)

V ④ 運河：「河」の基本の音読みは「カ」。

第32回

I ①漢字を一日に十五個ずつ覚えることにしている。
②経済の成長と共に、公害が社会問題となつた。

II ①隠そう (かくそう) ②異なる (ことなる)
③汚して (よごして) ④換えて (かえて)

III ①慣 aしゅうかん bなれる

②観 cかんきやく dかんこう

③確 eせいかくな fたしかめて

④乾 gかわいて hかんでんち

⑤割 iわりあい jやくわり

IV aかぶ bみなさん cはね dかいせい
eほした fけつあつ gしょくえん hかわ
iくつ jはいいろ

V ①1 ②1 ③2 ④2 ⑤2

II ④換える：「ほかの物ととりかえる、交換する」
圖替える、代える

IV b皆さん：「みんな」は「皆のくだけた言い方。」

c羽：「鳥や虫に生えている羽」
h革：「動物の皮を加工した物」

圖皮

V ③羽根：「鳥から抜けた羽根」

④仮名：圖 (特)

第33回

I ①休みの日の公園は、子供連れの家族でいっぱいだ。
②技術の進歩があまりにも速いため、追い付いていけない人もいる。

II ①祈った (いのつた) ②居た (いた) ③叫んだ (さけんだ)
④吸った (すつた) ⑤救って (すくって)
⑥割って (わって)

III ①許 aきよか bゆるして

②疑 cうたがわれた dぎもん

③求 eようきゅう fもとめて

④演 gえんぎ hえんぜつ

⑤給 iきょうきゅう jきゅうりょう

IV a荷物 bあまそな cつまつて d基本

e応用 fふくんだ gよせられた hきふ

i金額 j物価 k仮定 lかんき

m異常 nきゅうかん o案内

V ①2 ②4 ③2 ④4 ⑤3

I ①～連れ：「～と一緒に行動している」

II ③叫ぶ：「大きな声を出す」「世の中に意見を強く主張する」

という意味。例：平和を叫ぶ

V ④丸 (名)：圖丸い (形)、円い (形)

第34回

I ①暑かった夏が終わり、読書の秋、芸術の秋がやってきた。
②会議が進むうちに、会員たちの多くが反対意見に傾き始めた。

II ①押す (おす) ②驚いた (おどろいた)

③恐れて (おそれて) ④愛して (あいして)

⑤寄つて (よつて)

III ①敬 aけいご bけいい

②景 cけいき dけしき

③勤 eつうきん fつとめた

④久 gひさしぶりに hえいきゅう

⑤義 iいぎ jこうぎ

IV aむれ bあんいな cぎやく dかんびょう

eきゅうこん fむね gこつきょう h拡大

i机 j覚めた kきょうぎ lぎょぎょう

mひかく nぶんけい oぐうぜん

V ①3 ②2 ③2 ④3 ⑤1

III d景色：圖 (特)
f勤める：「会社などで給料をもらって仕事をする」
g勤める：「会社などで給料をもらって仕事をする」

h勤める：「会社などで給料をもらって仕事をする」

IV b安易な：「易」の基本の音読み

みは「エキ」。例：貿易

j覚める：圖覚える

V ③逆らう：「順当な方向に対し逆に進もうとする」「反抗する」

例：「風に逆らう」「先生に逆らう」

逆さ

第35回

I ①明日、国から友達が来るので、空港へ迎えに行く。

②図書館で借りた本は厚いので、一週間では読みそうにない。

II ①狭い (せまい) ②賢い (かしこい)

③恐ろしい (おそろしい) ④煙 (けむり)

⑤固い (かたい)

III ①検 (けんさ) ②解 (ごかい) ③更 (へんこう)

④協 (きょうりょく) ⑤管 (かんり) ⑥競 (きょうそう)

⑦及 (ふきゅう)

IV a傾向 b事故 cちょうかん d権利

eかんたんな fかんかく gこ hみずうみ

iじゅうきよ jちえ kしき lくんれん

mかた nあいんか oひげき

V ①2 ②1 ③1 ④4 ⑤2

II ③恐ろしい：「危険を感じて逃げ出したくなるような感じ」

かた 固い：圖硬い

IV j知恵：「恵」の基本の音読み

は「ケイ」。

n愛犬：「愛～」は「大切に思っている、大切にしている」

といふ意味。例：愛車

V ①幸いな (形)：図幸せ (名)

②機嫌：ここでは「表情や態度

に表れる快・不快などの感

じょう情」という意味。

第36回

I ①野菜や果物を食べないとビタミンが不足する。
②世界中で気候の温暖化が進んでいる。

II ①嫌って (きらつて) ②枯れて (かれて)
③込んで (こんで) ④荒れて (あれて)
⑤雇われる (やとわれる)

III ①庫 a きんこ b しやこ
②香 c かおり d こうすい
③呼 e こきゅう f よぶ
④固 g かたまって h こたい
⑤互 i おたがい j そうご

IV a かた b まかなければ c きっとてん
d きんえん e あつかましい f ほのお
g しお h あまやかされて i おそれ
j こうちや k かいがん l すな
m ほつきょく n とった o かまわないで

V ①3 ②3 ③4 ④4 ⑤1

II ③込む：「ひと もの うご
らいたくさん集まつた状態」

III c 香り (名)：「におい」の中で
「いいにおい」の時に使う。
i お互い：送り仮名に注意。

IV a 型：「同じ物を作る時のもと
になる物」
c 喫茶：「茶」の基本の音読み
は「チャ」。例：茶色
e 厚かましい：「ずうずうしい、
遠慮がない」
n 採る：ここでは「人を雇う」
という意味。図取る、捕る
o 構う：「気を遣う」

V ①誤り (名)：「間違い」という
意味。誤る (動)
②越える：「ある場所・地点を
通り過ぎて向こうへ行く」
超える

第37回

I ①この辞書は、例がたくさんあって使いやすい。
②彼は、大学の文学部に入ることを希望している。

II ①殺して (ころして)
②咲いて (さいて) 散って (ちって)
③似て (にて) ④辞めた (やめた) ⑤嫌がる (いやがる)

III ①材 a もくざい b ざいりょう
②察 c かんさつ d けいさつ
③支 e しきゅう f してん
④混 g こんごう h こんざつ
⑤散 i さんば j かいさん

IV a いんさつじよ b すりあがった c めいし
d かいさつぐち e ひとごみ f じさつ
g 原因 h と iくん j きみ k まつって
l おまいり m いくじ n 参考 o ぎむ

V ①(1)1 ②3 ③1 ④2

II ④辞める：「勤めや地位から身
を引く」
IV a 印刷所：「所」の基本の音読み
みは「ショ」。例：事務所
b 刷り上がる：「～上がる」は、
ここでは「完成する」
d 改札口：「かいさつ十くち」
→「かいさつぐち」読み方に
注意。
i ～君：仲間や目下に使う、軽
い敬意を示す言葉。

V ①(2)歯車：「は+くるま」→「は
ぐるま」読み方に注意。
②漁師：「漁」の基本の音読み
は「ギヨ」。例：漁業

第38回

I ①日本の夏は、湿度が高くて過ごしにくい。
②日本文化に関する知識を深くするために、寺や神社を訪ね
て回った。

II ①甘えて (あまえて)
②捨てて (すてて) 拾って (ひろって) ③述べた (のべた)
④支えて (ささて) ⑤就きたい (つきたい)

III ①準 a すいじゅん b じゅんび
②順 c じゅんちょう d じゅんばん
③幸 e こううんな f しあわせな
④守 g るす h まもつて
⑤招 i まねく j しようたい

IV a やわらかい b にあう c さいてん d ししゃごにゆう
e 平均 f とこや g 消防署 h どうし
i じゅつご j しゅうしょく k いわつて
l いっしょに m じょうしき n しゅう o しょこく

V ①1 ②4 ③3 ④4 ⑤1

III f 幸せな：読み方に注意。
g 留守：「守」の基本の音読み
は「シユ」。「留」の基本の音
読みは「リュウ」。例：留学

IV a 柔らかい：図軟らかい
V ③支度：「度」の基本の音読み
は「ド」。例：温度
④競馬：「競」の基本の音読み
は「キョウ」。例：競争

第39回

I ①将来、この近くに地下鉄の駅ができる。

②わずかながら株の価格が上がった。

II ①六軒 (ろっけん)

②八冊 (はっさつ) 四畳半 (よじょうはん)

③一羽 (いちわ) ④二割 (にわり)

⑤土歳 (じっさい／じゅっさい)

III ①植 a ショクぶつ b うえて

②賞 c ようきん d ようひん

③状 e ジョウきょう f ジョウじょう

④囲 g シュウい h かこまれて

⑤蒸 i むしあつい j ジョウはつ

IV a まるい b お皿 c てって d 証明

e 大臣 (だいじん) f のぼった g イワイ h しゆくじつ

i さいじつ j 文章 k くちべに l きゅうじょ

m はり n さして o からい

V ①1 ②2 ③(1)3 (2)2 ④4

II ①～⑤助数詞

IV e 大臣：「臣」の基本の音読み

は「シン」。

f 升る：「勢いよく高い所に行く」例：エレベーターで一気に昇る 図「登る」「上る」

V ①姓：「名字」

②承る：「引き受ける」「聞く」の謙譲語。

③(1)吹雪：図 (特)

第40回

I ①面接は第一印象が大切である。

②この委員会は、住民の代表と専門家で構成されている。

II ①積んだら (つんだら) ②伸びた (のびた)

③吹かれ (ふかれ) ④焼いて (やいて)

⑤触って (さわって)

III ①接 (せつきん) ②介 (しょうかい) ③書 (せいしょ)

④処 (しょり) ⑤承 (しょうち) ⑥支 (しはい)

IV a はんせい b さがした c はいざら d まど

e はいた f そうじき g かんごし h せいしん

i たいしょう j せいひん k 成績 l しょうじょう

m おんせん n しめる o 面積

V ①2 ②1 ③4 ④3 ⑤3

II ②伸びる：物の長さ、身長、成長などに使う。図伸びる

⑤触る：図触れる

IV b 捜す：「見えなくなったものを見付けようとする」図探し

c 灰皿：図「はい+さら」→「はいざら」読み方に注意。

f 掃除機：「除」の基本の音読み

みは「ジョ」。

i 対照：図対象

n 占める：ここでは「全体の中

である割合を持つ」という意味。例：賛成が過半数を占める

V ②占う：「将来の運勢を予測する」

③大勢：「勢」の基本の音読み

は「セイ」。

④万歳：読み方に注意。「万」

の基本の音読みは「マン」、

「歳」の基本の音読みは「サ

イ」。例：1万円、3歳

第41回

- I ①その機械の構造は、意外にも簡単だった。
②約束を守らなければ信用を失うだろう。
- II ①お札状（おれいじょう） ②血液型（けつえきがた）
③ドイツ製（ドイツせい） ④死亡率（しほうりつ）
⑤定期券（ていきけん） ⑥発言権（はつげんけん）
- III ①測 aそくてい bはかつた
②尊 cそんちょう dそんけい
③存 eそんざい fせいぞん
④則 gほうそく hきそく
⑤骨 iほね jこつせつ
- IV aむすこ bいき cせいり dこうそう
eかんそうき fせいさく gほうしん hおくりもの
iはなたば jこうか kおさつ lいきおい
mむかしばなし nまご oしそん
- V ①1 ②2 ③1 ④4 ⑤2

- II ②～型：「～型」の読み方に注意。
④～率：「～の割合」。「率」の基本の音読みは「ソツ」。例：率直
- III ①b測る：長さや高さや広さなどを調べる時に使う。図計量する
c尊重：「重」の基本の音読みは「ジュウ」。例：重要
③e f存在・生存：「存」の基本の音読みは「ソン」だが、「ゾン」と読む語が多い。
- IV a息子：図（特）
f製作：「道具や機械を使ってものつく」図制作
kお札：「紙のお金」
m昔話：「むかし+はなし」→「むかしばなし」読み方に注意。
- V ③御中：読み方に注意。会社などに郵便物を出す時、あて名の下に添える語。図個人あての郵便物には「～様」を使う。
④触れる：「軽く触る」図触る

チャレンジ 接辞②

- I ①3 ②1 ③4 ④2 ⑤4
II ①用 よう ②再 さい ③外 がい ④愛 あい ⑤觀 かん
III ①新聞 しんぶん ②禁煙 きんえん ③消防 しょうぼう ④水道 すいどう ⑤文化 ぶんか

第42回

- I ①団体旅行は安全だが、自由が制限される。
②東京は土地の値段も物価も高くて住みにくい。
- II ①荒く（あらく） ②清く（きよく） ③浅い（あさい）
④憎くて（にくくて） ⑤硬い（かたい）
- III ①官 aかんちょう bけいかん
②超 cこえる dちょうか
③装 eふくそう fそうち
④率 gそっちょくに hかくりつ
⑤接 iちくせつ jかんせつ
- IV aりょうがえ b駐車 cしゅだん dはずかしくて
eつま fふさい gなかま hちょうじょう
iけんちくぶつ jそうりだいじん kきんぞく
lせきたん m宇宙 nりょうがわ oでんちゅう
- V ①3 ②2 ③2 ④4 ⑤1

第43回

- I ①信号が赤から青になるのを待って、横断歩道を渡った。
②特急はすべて座席指定となっております。
- II ①怒らせて（おこらせて） ②贈った（おくった）
③造られた（つくられた） ④凍った（こおった）
⑤逃げて（にげて）
- III ①適 aてきどな bかいてきな
②態 cたいど dじょうたい
③震 eじしん fふるえて
④想 gくうそう hはつそう
⑤象 iぞう jたいしよう
- IV a発展 bせいとう cとうゆ d貯金
eこうとう fぬすまれ gしんぞう hごぞんじ
iちょしゃ jにくんで kすいてき lいづみ
mたおれた nこうたい oめんどう
- V ①1 ②3 ③1 ④4 ⑤1

第44回

I ①スピーチ大会に登場するので、発音の指導を受けた。

②家へ帰る途中で、図書館に寄って本を返した。

II ①届いて (とどいて) ②認められ (みとめられ)

③悩んで (なやんで) ④省いた (はぶいた)

⑤探した (さがした)

III ①独 a どくりつ b どくしん

②突 c とつぜん d つづこんで

③破 e はさん f やぶれて

④背 g せおった h せびろ

⑤任 i せきにん j まかせる

IV a でんぱ b のう c にぶく d くもり

e こうよう f かいぞう g こい h ぬる

i 健康 j きゅうそく k じゅんじょう l じどう

m せいと n きょだいな o はしら

V ①2 ②4 ③2 ④(1)1 (2)3

II ⑤探す：「欲しいもの、必要な

ものを求める」

III g 背負う：「背中に乗せる」

h 背広：「男性用のスーツ」

IV e 紅葉 (名)：「秋になって色を
変えた葉」

V ③探る：「目に見えないものを
さがす」例：「秘密を探る」

 探す

第45回

I ①本の出版を記念して、講演会が開かれた。

②大教室では前に座らないと黒板の字が見にくく。

II ①一兆 (いつちょう) ②一匹 (いっぴき) ③二匹 (にひき)

④三杯 (さんぱい) ⑤五泊六日 (ごはくむいか)

⑥六十巻 (ろくじっかん/ろくじゅっかん)

III ①断 (はんだん) ②認 (しようとん) ③担 (たんとう)

④像 (そうぞう) ⑤贊 (さんせい) ⑥参 (じさん)

IV a とめて b どりょく c なみ d かんたい

e そんがい f せめられた g ていりゆうじよ h はんぱい

i はんざい j ひがい k かみ l しょうどくやく

m うすめて n さか o いた

V ①3 ②1 ③2 ④1 ⑤3

I ②黒板：「板」の基本の音読み

は「ハン」。

II ②～匹 ③～杯：助数詞 読み

かた おんへん か ちう い

方、音変化に注意。

⑤～巻：シリーズの本の数え

かた

IV a 努める：「一生懸命力をつく

す」

務める、勤める

V ④背：意味が「身長」の時には

「せい」とも「せ」とも読む。

⑤灯：「明かり」

第46回

I ①会社の方針が能率第一に変わってから、働きづらくなつた。

②君の言っていることは、一般論にすぎず具体性がない。

II ①副社長 (ふくしゃやちょう)

②諸問題 (しょもんだい)

③再発行して (さいはっこうして)

④総人口 (そうじんこう)

⑤省エネルギー (しょうエネルギー)

⑥翌年 (よくねん/よくとし)

III ①定 a こうてい b ひてい

②復 c ふくしゅう d かいふく

③提 e ていしゅつ f ていあん

④複 g ふくぎつ h ふくすう

⑤財 i ざいさん j さいふ

IV a しろ b まわり c ふね d 浮かべて

e おゆ f わかして g ねこ h そば

i のうど j おみまい k せんたくもの l ふうとう

m はな n きつぶ o はくし

V ①4 ②2 ③4 ④4 ⑤1

II ①～⑥接辞「副～」「諸～」「再～」「総～」「省～」「翌～」

⑦広がる広げる漢字の言葉



⑧省～：「必要のない、～を使

わない」という意味。「省工

エネルギー」を省略して「省工

ネ」とも言う。

III i 財産 j 財布：「財」の基本
の音読みは「ザイ」。

IV k 「洗濯物」：「センタク（音）
+ もの（訓）」読み方に注意。

o 博士：「大学院の後期課程」

の時は「ハクシ」と読む。

博士

V ②再来週：「再」の基本の音読み

みは「サイ」。「再来～」は

「次の次の～」という意味。例：

再来月

第47回

I ①この雑誌の記事は、確かな情報を基に書かれている。
②税金の支払いは期限までに必ず済ませること。

II ①眠れなかつた（ねむれなかつた） ②満ちた（みちた）
③暮らしたい（くらしたい） ④抱いた（だいた）
⑤包んで（つつんで）

III ①辺 aあたり bしゅうへん

②豊 cゆたかな dほうふな

③亡 eしほう fなくなる

④満 gまんいん hふまん

⑤遅 iおそかつた jちこく

IV aけがわ bぼうし cむすめ dあみもの

eてぶくろ fあんで gむしば hみがく

iとつたり jたから kうめたり lぎゅうにゅう

mおぎなう nいねむり oきょうふ

V ①3 ②4 ③3 ④1 ⑤4

I ②済ませる：「仕事などを終わらせる」

II ④抱く：「しっかりと両手で胸に持つ」図抱える、抱く

III a辺り：送り仮名に注意。

IV i捕る：「逃げる相手を押さえて動かないようにする」図捕まえる、捕らえる

n居眠り：「座ったり、腰掛けたりしたまま眠ること」

V ③坊ちゃん：「坊」の基本の音
読みは「ボウ」。例：寝坊

⑤博士：図（特）意味は「その道に通じた人」図博士

第48回

I ①大雪のため、飛行機の到着時刻が変更になりました。
②欠席する場合は必ず連絡してください。

II ①薄い（うすい） ②軟らかく（やわらかく）
③怖い（こわい） ④幼い（おさない）
⑤優しい（やさしい）

III ①容 aようき bようい

②欲 cしょくよく dほしがら

③浴 eかいすいよく fあびた

④包 gこづつみ hほうそう

⑤訓 iくんれん jくんよみ

IV aはこ bうら cばくはつ d太陽 eぶたい

fおどれる gふごう hめいしん iぶき jぼうえき

kちんたい lひつじ mつかまえた nめん oこし

V ①2 ②1 ③3 ④(1)2 (2)1

II ②軟らかい：「力を加えると変形しやすい」図柔らかい

III b容易・IV j貿易：「エキ」と読む時は「取り替える」という意味。「イ」と読む時は「易しい」という意味。

IV m捕まえる：「しっかりと手につかむ」図捕る、捕らえる

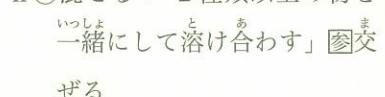
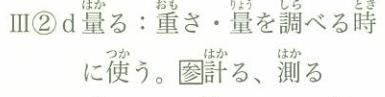
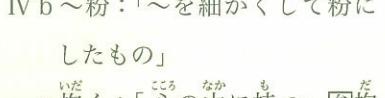
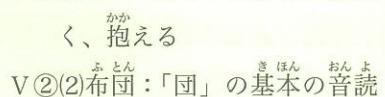
n綿：「メン」は布の種類を表す時に使う。図綿

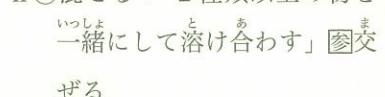
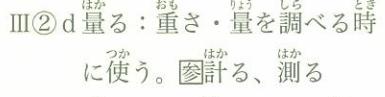
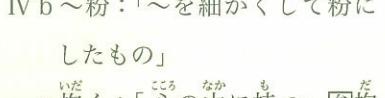
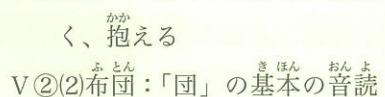
V ③抱える：読み方に注意。「胸の前、またはわきに両手で支える」図抱く、抱く

④(1)仏の顔も三度：ことわざ「どんなに温和な人も何度もひどいことをされれば、最後には怒り出す」

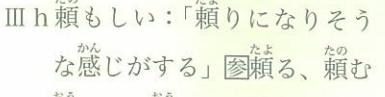
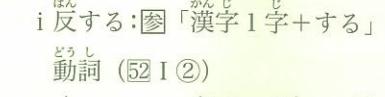
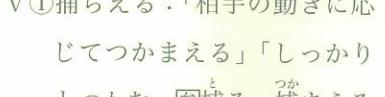
(2)犬も歩けば棒に当たる：ことわざ「時には災難にあうこともある」「何かやっていれば意外な幸運に遭遇することがある。(現在はこちらの意味で使われることが多い。)」

第49回

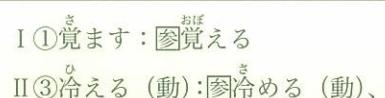
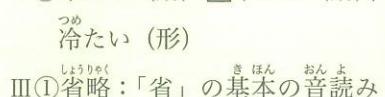
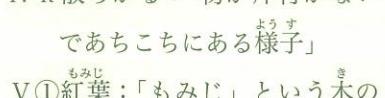
I ①地球の緑を失わないように守り育てるのが私たちの仕事だ。	II ①混ぜる：「2種類以上の物を一緒にして溶け合わす」 
②スポーツの世界では、毎年新しい記録が生まれている。	III ②d量る：重さ・量を調べる時に使う。 
II ①混ぜる（ませる） ②整ったら（ととのつたら）	IV b～粉：「～を細かくして粉にしたもの」 
③張られて（はられて） ④犯した（おかした）	V ②(2)布団：「団」の基本の音読み みは「ダン」。例：集団 ③綿：「綿のようないふわふわしているところが、綿に似ている～」 
⑤込めて（こめて）	
III ①勞 aろうどう bくろう	
②量 cぶんりょう dはかる	
③冷 eれいせいに fつめたくて	
④恋 gしつれん hこいびと	
⑤輸 iゆにゅう jゆしゅつ	
IV aたまご bこむぎこ cとき dこな	
eどろぼう f宝石 g指輪 hもどつて	
iつうやく jたよる kよけい lねんれい	
mいりょう nゆめ oいだいて	
V ①(1)2 (2)3 ②(1)3 (2)1 ③2	

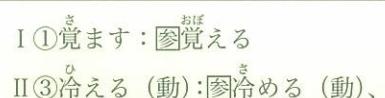
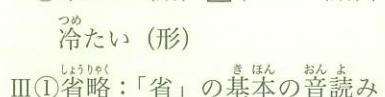
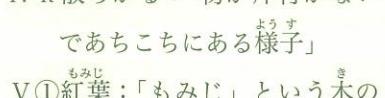
II ①混ぜる：「2種類以上の物と一緒にして溶け合わす」 
III ②d量る：重さ・量を調べる時に使う。 
IV b～粉：「～を細かくして粉にしたもの」 
V ②(2)布団：「団」の基本の音読み みは「ダン」。例：集団 ③綿：「綿のようないふわふわしているところが、綿に似ている～」 

第51回

I ①社長は、自分の判断ミスを絶対認めようとしなかった。	I ②断る：「相手の頼みを受け入れない」
②はっきり断ったのに、その男は借金を頼みに再び現れた。	III h頼もし：「頼りになりそうな感じがする」 
II ①呼び出して（よびだして）	IV e応じる：「応じる／する」あり。 「漢字1字+じる／する」で動詞になる漢字には「生じる、通じる、信じる、論じる、感じる、命じる、存じる」などがある。
②払い戻して（はらいもどして）	i反する： 
③乗り換えて（のりかえて）	
④見慣れない（みなれない）	
III ①極 aせつきよくてき bしようきよくてき	
②列 cれつとう dぎょうれつ	
③冷 eさまして fれいぞうこ	
④頼 gいらい hたのもしい	
⑤律 iほうりつ jきりつ	
IV aはいけん b環境 c基準 dひはん eおうじて	
fあん g主張 h司会 iはんして jやちん	
k季節 lほぞん mよくぱりな n目標 oいし	
V ①2 ②4 ③3 ④(1)3 (2)1	V ①捕らえる：「相手の動きに応じてつかまえる」「しっかりとつかむ」 
	④(2)雨戸：「あめ十と」→「あまど」読み方に注意。

第50回

I ①寝い時は、軽く体操をして目を覚ますようにしている。	I ①覚ます： 
②労働条件を改善するための話し合いが行われた。	II ③冷える（動）： 
II ①余って（あまって） ②浮かべて（うかべて）	III ①省略：「省」の基本の音読み は「セイ」。例：反省
③冷えた（ひえた） ④与えない（あたえない）	⑦緑化：「植物を植えて緑を多くすること」読み方に注意。
⑤沈み（しづみ）	IV k散らかる：「物が片付かないであちこちにある様子」
III ①略（しょうりやく） ②了（かんりょう）	V ①紅葉：「もみじ」という木の名前。 
③凍（れいとう） ④乱（こんらん） ⑤募（ぼしゅう）	
⑥令（めいれい） ⑦緑（りょっか）	
IV aたたみ bこいしく cゆうしよう dこうほ	
eきゅうよ fなみだ gまずしかつた h幸福な	
i栄養 jふで kちらかって lかたづけて	
mもえる nしゃりん oうらぎらない	
V ①2 ②1 ③4 ④4 ⑤1	

I ①覚ます： 
II ③冷える（動）： 
III ①省略：「省」の基本の音読み は「セイ」。例：反省
⑦緑化：「植物を植えて緑を多くすること」読み方に注意。
IV k散らかる：「物が片付かないであちこちにある様子」
V ①紅葉：「もみじ」という木の名前。 

第52回

I ①失敗を恐れず、理想に向かって進め。
 ②このレポートは、戦争で心と体に深刻なダメージを受けた子供たちに接した医師が書いたものだ。

II ①思い込んで（おもいこんで） ②飛び込んだ（とびこんだ）
 ③引っ込んだ（ひっこんだ） ④溶け込み（とけこみ）
 ⑤申し込む（もうしこむ）

III ①価 aひょうか bかち
 ②修 cけんしゅう dしゅうり
 ③授 eきょうじゅ fじゅぎょう
 ④節 gせつやく hちょうせつ
 ⑤張 iかくちょう jしゅっちょう

IV a暮れる bむちゅう cようじ dねぼう
 eはら fへんしゅう gりょうしゅう hひつき
 iりやくした jらんぱうな k勇気 lぬいた
 mうで n氷 oひふか
 V ①1 ②2 ③4 ④3 ⑤4

I ②接する：「漢字1字+する」
 で動詞になる漢字には「達する、熱する、愛する、関する、反する、略する」などがある。

II 複合動詞 「～込む」 ②③⑤
 「何かがその中に入ること。またそうした状態にする」という意味。①④「すつかりその状態になってしまい、元の状態に戻れない」という意味。

IV a暮れる：「日が沈んで暗くなる」
 ル語暮らす
 c幼児：「小学校に入る前ぐら
 いまでの子供」

V 二十歳、迷子、白髪、木綿、
 ゆかた 浴衣：図（特）

第53回

I ①当時の政府は、農家から米を高く買い、消費者には安く売っていた。
 ②満足できる結果が得られて、今までの苦労も忘れてしまった。

II ①果たした（はたした） ②迷つて（まよつて）
 ③払う（はらう） ④離れる（はなれる）
 ⑤含めた（ふくめた）

III ①片 aはへん bかたみち
 ②程 cかてい dていど
 ③統 eけいとう fでんとう
 ④評 gひょうばん hひょうろん
 ⑤婚 iけっこん jりこん

IV a労働 b守る cほう dそん
 eぶし fほど gすいとう hたくはいびん
 iわかわかしく jようもう k秒 lついでん
 mふぞく nごりょうしん oてちょう
 V ①4 ②1 ③1 ④1 ⑤2

III g評判：「判」の基本の音読みは「ハン」。例：判断
 IV f程：「身の程」で「身分」のうりょくていど。h宅配便：「宅配」は「自宅配達」の略。「商品や荷物を自宅まで配達すること」という意味。
 n御～：例：御連絡、御意見など。「御」の基本の音読みは「ギヨ」。

総合問題2

I ①日本は四つの島から成っています。どこの国にも、国がどうやって生まれたかという神話がありますが、日本の場合は、男と女の神様が結婚して、これらの島を作ったということになっています。
 ②大人は、幼い子供は悩んだり苦しんだりすることはないと想いがちだ。しかし、子供はそんなに単純ではない。ある児童文学者は、「子供が甘いお菓子のような話をばかり与えるのは間違いだ。彼らは大人以上に死の恐怖を感じ、人生の意味を考えている。」と語っている。

II ①下降（かこう） ②困難な（こんなんな） ③団体（だんたい）
 ④到着（とうちやく） ⑤単純な（たんじゅんな） ⑥収入（しゅうにゅう）

III ①体重（たいじゅう） 重体（じゅうたい） ②階段（かいだん） 段階（だんかい）
 ③実現（じつけん） 現実（げんじつ） ④先祖（せんぞ） 祖先（そせん）

IV ①aせいしん b原因 cしんたい dしんこく eいし
 fせつした gいんしよう h周囲 iきたいどおり jやさしい
 ②a設計 bきゅう cつねに dしょくば e追われる
 fひつしに gのう hしょうじて i感覚 j含めて
 k冷静 l観察 mどりよく nみのらない oゆうき

チャレンジ 接辞③

I ①3 ②3 ③4 ④4 ⑤1 ⑥4
II ①1. 系 2. 化 3. 性 4. 派 5. 超

チャレンジ 音の変化

I ①1. B こくりつ 2. B こくさん 3. A こつきょう 4. B こくれん
②1. A しゅっきん 2. B しゅつげん 3. A しゅっさん 4. B しゅつだい
③1. B しほつ 2. B かいはつ 3. A はんぱつ 4. A せんぱつ
④1. A いっぽう 2. A えんぱう 3. B たほう 4. A りっぽう
II a さいはつ b かつぱつ c けいひ d じっぴ e けつい
f けつしょう g ぶんぱい h はいぶん i かんきやく j きやつかん
III ①有しゅうち ②用しようきんし ③建さいけん ④健けんざい
⑤居どうきょ ⑥連れんきゅう ⑦品しゅっぴん ⑧京ききょう

チャレンジ 読解

I ①a ロボット b 効果 c 介護 d 負担
②省略
③1. × 2. × 3. ○ 4. ○ 5. ○ 6. ×
④きもちを元げんきで明あかるくする (など)
⑤1. こうれいしや 2. じょうじょう 3. ゆうこうせい 4. じつしょう 5. かいご
6. ふたん
II ①a ヒゲ b 伸ばす c 市民 d 不快 e おかしい
②省略
③1. × 2. ○ 3. ○ 4. × 5. ○
④きれいに整ととのえられていないヒゲ
⑤1. ちょうないぶんしょ 2. ふかい 3. めいぶんか
4. たいしょする 5. ようにんする 6. ぜんめんきんし